



栄小学校だより

令和3年12月17日(金) No.31

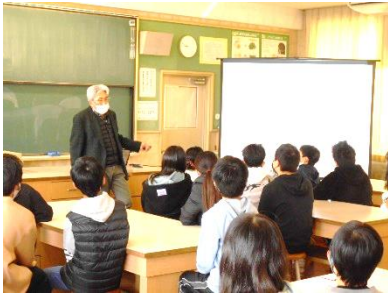
○歯の授業

12月16日(木)に、5年生・6年生が学校歯科医の早川先生より、歯の保健指導を受けました。「食事は、しっかりと一口30回以上は噛むこと」が大切で、それを守ることで、8大効用「ひ・み・こ・の・は・が・い・い・ぜ」を教わりました。

①:肥満予防, ②:味覚も助長, ③:ことばがはっきりする, ④:脳がよく働く,
⑤:歯の病気予防, ⑥:がん予防, ⑦:胃腸快調, ⑧:全力投球

また、口の中にある悪い細菌を増やさないような食生活や歯の手入れをしっかりとすることが大切で、「毎日歯磨きをしっかりとて歯垢(しこう)をおとす」ことを学びました。

また、地震等により、避難活動を強いられた時の食事や歯を守るための行動について、グループで意見を出し合って考えました。



○今年もアニメーションが開催されました！

12月14日(火)、6年生が学校読み聞かせボランティア運営の「アニメーション」に参加しました。このアニメーションは、読書の楽しさを伝えるとともに読む力を引き出すためのグループ参加型の読書指導メゾットのことを言います。

今年は、ボランティア20名の方に協力いただき、栄公民館、プール更衣室、家庭科室、体育館、図書室をフルに使い、体験をしました。内容は……。秘密です。ごめんなさい。

6年生からは、「また、したい!」「楽しかった!」などの声が多く聞こえました。

運営をしてくださったボランティアのみなさん、並びに運営金をご協力いただいた栄小 PTA に感謝もうしあげます。



○綿菓子づくりを体験しました！

1年生から6年生が、各授業で「綿菓子づくり」にチャレンジしました。

手指消毒後にマスク・フェイスシールドを装着して、砂糖の一種である「ざらめ糖」をスプーン1杯、機械に入れて、割りばしで「くるくる」集めます。気分は、縁日の屋台です。高学年になると、「なぜ、ざらめが綿菓子になるのか?」と疑問に思い、chromebookで調べるシーンも……!?

このような甘くておいしい体験は嬉しいですね!



○冬のCTLと交通安全

12月13日(月)の朝、鈴鹿市の主要箇所ではCTL活動を行いました。栄地区では、3か所(23号線、秋永交差点、栄小西方交差点)で市議会議員、市役所、警察、学校等の関係者の代表が立ち、交通安全を市民に呼びかけました。

師走の12月は、忙しく日暮れも早いことから、車もスピードが出しすぎの傾向があります。登下校はもとより、自宅周辺でも道路の横断には気を付けて、事故のないように交通安全に心がけましょう。



○なわとびを頑張っています

冬に入り気温が下がって寒くなってきました。子どもたちはそんな中でも「元気いっぱい」です。

最近、授業や休み時間に運動場で、「なわとび」をする姿が見かけられます。

声をかけると、「あやとびができるようになったよ」、「二重とびが5回とべた」など、笑顔と共に返ってきます。

何気なしに遊んでいるように見えて、実際は「子どもたち、ひとり一人が自分の課題を持ち、目標をたて、ステップアップを図る」ことをやっているのに気づき感心しました。



☆特集 保護者に向けた「親塾シリーズ」No.10

○最近言われている「教育改革」って何？ 学習指導要領の改訂

入試制度改革をはじめ、昨今、教育制度に関するニュースを耳にすることが増えてきました。学習指導要領の改訂、アクティブ・ラーニングの導入、そして大学入試制度改革……。学習指導要領の改訂は、小学校では令和2年4月、中学校では令和3年4月より、本格実施されました。

今、社会は大きく変わっています。通信技術の進化や AI の登場など技術革新が急速に進展する一方、コロナ禍や環境問題など、人類が経験したことのない事態が起きています。先を予測できない時代になったといえるわけです。

スマホですぐに調べられるような知識を蓄えることは、あまり重要ではなくなると言われています。覚えたものを答案用紙に再生できる学力より、変化に対応し、社会の中で主体性を持って生きていくための“新しい学力”を育てることが重要になる。そのために教育を改革していこうという取組みが、文部科学省を中心に審議されてきました。それが、「学習指導要領の改訂」となったわけです。

文部科学省は、“新しい学力”として、次の3つを挙げています。まずは“知識・技能”。これは従来の学力です。次に“思考力・判断力・表現力”、すなわち自分で課題を見つけ、考え判断し、人に伝える力。さらに“主体性・多様性・協働性”、つまり主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度です。そして、これらの学力を基に「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業によって、次の資質・能力を育成していくことが目的だと打ち出しています

- ・実際の社会や生活で生きて働く「知識・技能」
- ・未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力など」
- ・学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性など」

「学んだことを生かして、自分で考え判断し、また他者との学びを通じて新たな気づきを得たりしながら、人生を切り拓いて社会を豊かにしていく「生きる力」を育てていくということです」

学校の授業も「教える」から「学ぶ」、そして「学び合う」へ

<次号へ続く>